

## 悪性前立腺ガン・克服体験

### 1. 地球生物の健全な生命を維持する宇宙物質の活用について

- 1) 宇宙は約 150 億年前、羽毛にも満たない物質が大爆発して、現在存在する約 98 種に及ぶ元素を生んだ。
- 2) 従って、これまでの地球生物が健全に繁栄するにはこれらの元素と、太陽光を効率的に利用することが大切である。
- 3) 武田は昭和 50 年代から約 15 年間、海水を基本とした栄養塩と、土壌抽出液を混合した培養液で海産微細藻 (5 $\mu$ ) を約 3,000 万細胞/ml 以上生産した体験がある (これが宇宙生成成分の有効利用活用に関する研究の流れとも云える)。これこそが私が溶岩浸漬水の治療法に興味を持った理由の一つであり、昔 (江戸時代) から味、品質の良い農作物を作ってきた海水農法の歴史でもある。そこで、本日は病氣治療に活用した 2 例を次に紹介する。

### 2.

- 1) 体験者：寺沢充夫工学博士 (現・生体健康科学研究所長)
- 2) 病 状：進行性前立腺ガン、仙骨転移、前立腺ガン・マーカー (PSA・189)
- 3) 治療法：①ホルモン療法 (1 回/約 2 ヶ月)、富士山溶岩浸漬水 (1L/日)、富士山溶岩末 (ティスプーン 1/3 杯を 1 回/日)、入浴 (温)、菜食中心。
- 4) 経 過：①平成 18 年 10 月から治療開始。②平成 18 年 12 月 (PSA・0.41.マーカーから見て異状なし)、③平成 19 年 1 月 (PSA・0.29、異状なし)。

### 3.

- 1) 体験者：武田恵二 ((財) かき研究所参与)
- 2) 病 状：①平成 20 年 12 月・股間に違和感が出た。②平成 21 年 4 月悪性前立腺ガン、転移なしと診断される。 PSA・12.86。
- 3) 治療法：平成 21 年 5 月 13 日 (PSA・12.508) から次の如き処置。ホルモン注射 (1 回/約 2 ヶ月)、富士山溶岩浸漬水 (0.75L/1 日)、手製のハナビラ茸粉末 (0.6~0.75 g/日は $\beta$ 1-3 グルカンで 0.29 mg相当)、コラーゲン (5~7g/日) 小型電気アンカで腰部を保温、菜食中心。
- 4) 経 過：①平成 21 年 5 月 13 日 (PSA・12.508)、②平成 21 年 8 月 19 日 (PSA・1.203) 異状なし。③平成 21 年 11 月 11 日 (PSA・0.86) 診断書:就労可。

※ 前立腺ガン・マーカー値 (PSA) 0~4 : 正常、5~10 疑い有り、11 以上 : ガンの疑い (この値は概数値である)。

### 4.

ガンに効果が認められるのは茸類、酵母が有する $\beta$ 1,3 グルカン等である。